

簡単に儲かる
デイトレード



はじめに

本書は2006年11月に、パソコン向けの電子書籍として発行されたデイトレード入門書の改訂版だ。

オリジナル版が好評を得た理由は大きく3つある。

(1) 素晴らしい実績をあげている個人投資家に、実際にネット証券で売買してもらったこと。

(2) 初心者でも簡単に真似できるデイトレードの手法を用いてもらったこと。

(3) その実績と取引データをもとに、わかりやすく手法を解説したこと。

674,557円の利益がこのとき、じっさいに得られた。

元手は300万円。

取引をした1ヵ月間(実質18日)、いちども負けなしである。

決済日 / 2006年06月29日~2006年07月27日

決済損益合計	+674,557	明細数 / 28件
--------	----------	-----------

あなたが用意できる元手が100万円でも50万円でも、株の売買ができる程度であれば、本書の手法は実行できる。

この成績を1年間つづければ、単純計算で元手は約3倍、複利運用なら10倍も夢ではない。

この結果がたまたまの幸運でないことは、あとで述べるように、運用期間中、下げ相場だったことでもわかる。

これから説明する投資法は、伝授してくれた個人投資家曰く、「デイトレードの最もシンプルなやり方」だ。

デイトレーダーなんていうと、モニターを何台も同時に見て、いくつもの操作を瞬時におこなって……というイメージがある。

そういうことをいっさいせず、むずかしい計算や複雑なテクニカル指標もいっさい使わないで、この実績である。

したがって、初心者でもじゅうぶん取り組める。

ここで言う初心者とは以下のような人だ。

投資に関心はあるが、まだはじめていない人
はじめてまもない人
経験はかなりあるのに、ちっとも儲かっていない人

また、経験者にしても、大切なのは知識のあるなしではなく、実績だ。
「初心者向け」のやり方で、これ以上のパフォーマンスが出せるようになってから、次の段階へ進まれることをおすすめする。

この魅力的な投資法を紹介するまえに、いくつか注意点がある。

本書はできるだけコンパクトに有益な内容を盛り込むことを目指している関係上、初心者向けとはいえ、用語の解説だとか口座の開設といった部分にはふれていない。

それほどむずかしい専門用語は使っていないので、いきなり本書から読みはじめても、そんなにこまることはないはずである。

オリジナル版では、実際の取引データを参照してもらいながら、話を進めていたが、本書では、データそのものは省略し、本文だけで理解できるようにした。

どうしても取引データを見たい方は、RJのサイトで、メンバーズ（有料会員）になれば、閲覧できるようにしてある。

<http://www.rjbo.com/>

前提となっているデータが古いと、いまの状況とは合わないんじゃないかと不安になるかもしれないが、本書の内容はそんなヤワなものではないので、安心してもらいたい。

いちどマスターすれば、あとはあなた自身がデータだけを最新に更新していけば対応できるようになっている。

本書の例も最新データに書き換えるのは簡単なのだが、そうすると、現実の取引をもとに出した実績だという部分がウソになってしまう。

ちなみに、もととなった取引をおこなったのは、その時点で、個人投資家の利用率が最も高かったイー・トレード証券である。

最後に、本書はなんらかの結果を約束するものではないので、投資をされるさいには、ご自身の責任でどうぞ。

もくじ

はじめに

第1章 どうすればこんなに勝てるのか

- 01 驚くべき実績
- 02 取引明細の注目点
- 03 株価の秘密
- 04 信用取引を使うか
- 05 3つの情報源

まとめ～ワンポイント・アドバイス

第2章 銘柄選びのポイント

- 06 4本値を調べよう
- 07 5つの引き算
- 08 値動きチェック法
- 09 銘柄をしぼりこむ
- 10 デイトレードのキモ

まとめ～ワンポイント・アドバイス

第3章 初心者向けデイトレードの基本

- 11 前日の夜にやること
- 12 短期トレンドの見方
- 13 朝のトレンド
- 14 注文の出し方
- 15 プロに負けない方法

まとめ～ワンポイント・アドバイス

第4章 実践的なテクニック

- 16 目標を立てる
- 17 利幅の決め方
- 18 ギャップを利用する
- 19 前日の動きに要注意
- 20 まちがった状況判断

まとめ～ワンポイント・アドバイス

第5章 こんなときどうする

- 21 思惑がはずれた場合
- 22 相場には魔物が住む
- 23 トレンドの見極め方
- 24 日経平均との関係
- 25 瞬時に勝敗が決まる

まとめ～ワンポイント・アドバイス

第6章 勝率アップの秘訣

- 26 銘柄との相性判別法
- 27 初心者が陥る穴
- 28 上達のコツ
- 29 勝てない原因
- 30 最後に実例をひとつ

まとめ～ワンポイント・アドバイス

おわりに

第1章 どうすればこんなに勝てるのか

【01】驚くべき実績

はじめに紹介した実績のうち、なにより驚くのは、1ヵ月間いちども負けなしという事実だ。

「いや、ホンネを言うと、負けがあるくらいの方がいいですよ。今回は初心者向けということでやったので、リスクをできるだけとらないようにしました。そのせいで、本来なら1日で数十万儲けることのできた日に、結果を出せていません。少し言いわけですけどね」

しかし、こう思わないだろうか？ その方がかえってスゴイと。

これが2005年末あたりの日本全体の株価が急上昇している時期なら、我々も驚かない。

不祥事がつづき、株価が低迷していた2006年夏である。

正確には、6月29日～7月27日になる(20営業日中売買したのは18営業日)。

そのすごみを理解していただくため、まずは相場全体の動きを見てみよう。この期間の日経平均株価は、終値ベースでわずかなプラスだった。

15,121 15,179

ただし、取引2日目～最終日前日までの終値の動きを見ると、

15,505 14,884

この通り大きく下げている。

期間中の高値は4営業日目(7月4日)、安値はほぼ中間点にあたる9営業日目(7月11日)につけている。

このあいだの終値の変化は、以下の通り。

15,505 14,437

ちょうど1週間で、じつに1000円以上下げている。

終値ベースで、日経平均がこれほど短期間に急落するのは、年にそう何回もあるものではない。

こんな状況下でどうして月22%を超える利益が可能となるのか、その秘密の一端は取引データに隠されている。

サンプル版はここまでです。